

スペイン遠征報告 3月22日(木) / 23日(金) - 1日目	
<p>(日本時間) 3月22日 17時</p>	<p>●成田空港にて集合</p> <p>スペイン遠征に向けて、成田空港にて集合。海外に行くことが初めての選手もいて緊張感があるものの、今回の大会に向けた意気込みは十分。ハワイ遠征に続いて（参加メンバーは異なる）のスペイン遠征だが今回は「GLOBASKET2018」という大会に出場するということで、横浜ビー・コルセアーズU15として、また日本のクラブチーム代表としても力が試されることになる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>(現地時間) 3月23日 8時</p>	<p>●上海浦東空港を經由して、バルセロナ＝エル・プラット空港に到着</p> <p>移動時間 18 時間という長旅を終え、特に大きなトラブルもなくバルセロナ＝エル・プラット空港へ到着。長時間での移動のなかでも、機内での映画や読書、勉強など、選手たちはうまく時間を使っていた。しかしバルセロナ＝エル・プラット空港に着くと、一気に疲労が見られた。。。のは、スタッフのみ。子ども達は、しばしの滞在時間でもカードゲームなどで楽しんでいる。水などの買い物もスムーズに行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>11時30分</p>	<p>●バスで一路、大会開催地のリレットダマル（Lloret de Mar）へ。</p> <p>選手たちはバスでも元気いっぱい。海外に来ている興奮からか、時差の影響も睡眠不足の影響も見せずに移動を満喫している。</p> <p>当初は予定になかったがバスの運転手にお願ひし、世界遺産のサグラダファミリアへ立ち寄ることに。短時間での滞在となったが、そのスケールの大きさに驚きの声を上げ素晴らしさを感じ取っていた。</p>



14時30分

●街を散策

ホテルへ到着し、ランチを済ませ、滞在するリュレットダマルの街を散歩して回ることに。まずはビーチに行き、気持ちをリフレッシュさせようと連れていくが、ここはスタッフの判断ミス。当然、ウェアで波に洗われる。気温は18度と海に入るにはまだ早い気温。

体調を心配しつつ一度、ホテルに帰る着替えをしてから再出発。大会の行われる試合会場を見学。そこでは現地のクラブチームが練習をしていたので練習を見学。大会関係者とも偶然に出会うことができ明日からの試合についても話げできた。

ホテルに戻り、夕食。



20時30分

●ミーティング、就寝

明日からの大会について、それぞれのマインドセットを行う。まずは自分たちが力を発揮すること。どんな相手が来てもアジャストすること。そのために、コーチも選手も一丸となっていくことを確認。

ビーチでリフレッシュしたこと、少し散歩したことなど、緊張から解き放たれたことで、疲れが出てきて21時過ぎには就寝し、明日に備える。

所感

選手たちは「海外で試合をすること＝長時間の移動」という最大の懸念要素を経験し、そこでの体調管理の大切さを感じることができた。また、英語が通じない場面が多く、また街にもアジア人がいないことで珍しがられる場面も多く、困惑することもあった。しかし、人々が温かく声をかけてくれることで、少しずつ挨拶やお礼を言えるようになっていく姿は、早い年代で海外に出る経験をする必要性を強く感じる事ができた。

明日からは大会が始まる。選手たちの体調が整っているか心配ではあるが、チーム一丸となって戦ってきたい。

<明日の予定>

AM 予選リーグ vs LLICA AMUNT U15

	PM 未定 夜 ミーティング
--	-------------------

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook 、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

スペイン遠征報告 3月24日(土) - 2日目	
(現地時間) 7時	<p>●起床、朝食、移動</p> <p>前日の疲れを少し見せつつも、早い時間に就寝したことで気持ち的にはすっきりしている様子。朝食を済ませ、バスで大会会場に移動する。</p>
9時	<p>●会場入り</p> <p>バスでの移動中も、試合への緊張感や不安よりも期待感が勝っている様子。会場では、すでに U12 の試合が始まっていた。</p> <p>選手たちは、荷物を置きウォーミングアップを開始。</p> <p>スタッフは JVC ケンウッド様よりご提供いただいた機材のセッティングをし、ライブストリーミングで日本にライブ中継をするための準備をする。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
10時30分	<p>●予選リーグ第1試合 vs LLIÇÀ AMUNT U15</p> <p>初戦は選手たちに硬さも見られると思っていたので、改めてのマインドセットをするというよりは、いつもの自分たちを出すことに集中させるように話し合う。相手の姿も見えると、190cm 以上の選手が 3 名ほどおり、サイズでは明らかに劣っていた。</p> <p>しかし、試合開始から速いテンポで得点を奪い 7 - 0 で先制攻撃。これで少しリズムが掴めると、徐々に自分たちの力を発揮していく。相手の高さにも苦しむ場面を見せながらも、堅いディフェンスでインサイドを死守し、そこから速攻で点数を加えていく。後半に入ると緊張も解け、相手の弱点を突くように攻めることで、終始試合の主導権を握ったまま試合終了。初戦を 84 - 48 と勝利で飾った。</p> <p>ビーコル 84 - 48 LLIÇÀ AMUNT U15</p> <p style="margin-left: 40px;">20 - 11</p> <p style="margin-left: 40px;">17 - 13</p> <p style="margin-left: 40px;">23 - 10</p> <p style="margin-left: 40px;">24 - 14</p> <p>この試合で驚いたことは、審判が一人ということ。当然、ラインを踏むことや、多少のファウルは見過ごされていく。日本では練習試合でしか見たことがない光景。選手も最初はフラストレーションをためることもあったが、素早くアジャストしていく賢さを見せてくれた。</p>

	<p>また、我々は日本でインターナショナルリーグを主催し運営している中で、フランス人やドイツ人と試合をしているため、外国人選手に対する恐怖心や違和感は全くと言っていいほど感じなかった。これは世界を目指して地道に活動していた成果の一つであるとともに、正しい道を進んでいると実感することができた。</p> 
14時30分	<p>●昼食後、他のカテゴリーを観戦</p> <p>ホテルへ戻りランチを済ませたら、近くの会場で行われているU12、U13などの試合を観戦しに行く。そこにはFCバルセロナのチームが来ていて、興味深かった。結論からするとビーコルのU12のほうが、圧倒的にバスケが上手である。しかし、代表レベルになったときには彼らのレベルが上回っていると思うと、育成組織の大切さを痛感させられる。</p> <p>ほかにはアルゼンチンチームがおり、クラブの応援歌(?)を合唱しながら飛び跳ねる、独特の応援を展開。気付くと、ビーコルの選手たちも、お祭り騒ぎのような応援に混ざっている。日本のバスケでは体験できないことに触れる良い機会であるとともに、選手たちの新たな一面を垣間見ることができた。このような言葉の通じない人々と他の文化に触れることは素晴らしいと感じた。</p>
20時00分	<p>●ミーティング、就寝</p> <p>時間的にも余裕ができていたが、それでも長旅の疲れは残っており、さらに試合の疲れもあったことで、早くに就寝。今日の反省と明日への課題を洗い出して、明日の試合へのマインドセットをし、本日は終了となった。</p>
所感	<p>初めての海外大会への出場を勝利で終えることができ、ひと安心したのと同時に、自分たちのバスケがスペインで通用したことで自信を持って大会を進めることができる。違った国、違ったルール、言葉が通じない中でも選手は自分たちらしさを失わずに激しく戦っていた。</p> <p>このような経験が非常に有意義なものになると感じた。これを各年代で積み重ねていくことが選手の育成と人材育成につながると確信している。</p> <p>また、大会期間中に多くのチーム関係者と交流を深め情報交換を行えることは、現地に来なければできないことであり、これもまた刺激的である。</p>
<明日の予定>	<p>AM 予選リーグ GAME 2 vs</p> <p>PM バルセロナ観光</p> <p>夜 ミーティング</p>

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

スペイン遠征報告 3月25日（日） - 3日目	
<p>(現地時間) 7時</p>	<p>●起床、朝食、移動</p> <p>今日の試合会場はホテルから徒歩5分ということで、余裕をもって準備をしていくはずが、サマータイム開始日ということで、時刻が1時間早まっており混乱。同じ時間に起床したにもかかわらず、まだ陽が上っていない。スマホなどのデジタル時計は修正されているものの、アナログ時計は当然修正されておらず、正しい時間がわからず。また、サマータイムの習慣がない日本人には馴染みがなく、これも海外でなければ実感のわからないことである。</p>
<p>8時</p>	<p>●会場入り</p> <p>徒歩での移動、会場入りは対戦チームとほぼ同時。しかし、運営スタッフが来ておらず、練習用のボールも準備されていない。昨日よりは選手もスタッフも準備を順調にすることができた。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>9時00分</p>	<p>●予選リーグ第2試合 vs ALCORCÓN U16 (http://alcorconbasket.es/)</p> <p>試合会場について相手チームが入ってくると、まずそのサイズの大きさに驚かされる。我々も、192cm、188cm、188cm と日本の U15 では長身者がいるチームであるが、相手はパッと見ただけで195cm が2名、190cm 前後が3名、180cm 後半の選手が3名。日本では高校生のカテゴリーでも、大きなチームになる。さらにウォーミングアップでも、ダンク、3P とやすやすと決めていく姿に驚かされる。選手たちも同じかと思いきや、不安はあるものの、挑戦者としての目つきを備えており頼もしく感じる。</p> <p>試合は序盤に相手の高さが気になり、オフェンスが停滞。逆に中外を効果的に攻められリードを奪われる。しかし、粘り強くディフェンス、リバウンドを奪ってから速攻で得点し、さらにはビッグマンをアウトサイドに引っ張り出し攻め込むことで加点。攻めにリズムが生まれてくると、ディフェンスでも高い位置からプレッシャーをかけ、インサイドにボールを入れさせない。控えから出場のガード陣が流れを作り始めると、相手のシステムがほころび始める。一気に引き離したいところだったが、相手もインサイドの高さを見せて食らいつく。前半終了間際に加点をし、良い流れをキープして後半へ。</p> <p>後半の出だしに注意して試合に戻る。テンポよく加点していくも、相手も前半とは比べ物にならないほどアグレッシブに攻めてくる。序盤は速攻などで加点できたが、インサイドへのドライブインやオフェンスリバウンドを奪われ流れを掴めずにいる。相手に詰め寄られるも、結局このク</p>

オーターをイーブンとし、リードをキープしたまま最終Qへ。4Qも序盤にインサイドを攻められ一桁点差になるも、5分過ぎからディフェンスが効果を発揮し、速攻につなげてリードを一気に広げ、強豪との対戦に勝利する。

ビーコル 68 - 45 LLIÇÀ AMUNT U15

12 - 9

21 - 11

17 - 17

18 - 8

サイズが圧倒的に劣る中、全員がハードにディフェンスをしてインサイドを封じることができたことが大きな収穫であった。選手たちも大きな選手相手にすることに慣れてきて、対応がうまくなっている。



11時00分

●昼食後、バルセロナに移動し市街を観光

ホテルでランチをテイクアウトし、デンマークチームとバスを乗り合わせてバルセロナ市街に移動。

・地下鉄を利用してキャンプ・ノウへ

チケットの買い方、電車の乗り方、車内の雰囲気など日本と同じ点や違う点に着目し興味を示している。キャンプ・ノウへは当然入れなかったが、休日にも関わらず多くの観光客でショッピングも盛況。すぐ隣にあるバスケットチームのスタジアムも見学したかったが休みで内部は見られず。子ども達より我々スタッフのほうが興奮していた。またビーコルとしても、このような素晴らしい施設を保有し多くのファンに愛されるようなビッグクラブになっていきたいと感じる。

・教会、凱旋門、大聖堂へ

歴史的な建造物や街並みを散策。サグラダファミリアもそうだが、子ども達がどのように感じるか楽しみであった。感じ方は人それぞれだったが、子どもの時にはあまり感じられなかったこ

	<p>とも、大人になるにつれ歴史や文化に触れた刺激はじわじわ効いてくると思う。</p> <p>その後、帰路に着くが、バスが時間通りに来ない。また、市内がカタルーニャの独立にかかわる集会・デモで一部道路が閉鎖され、まったく車が動かない状況が続いてしまい、帰着に3時間を要してしまうトラブル。日本ではなかなか遭遇しない事態だったが、これも世界情勢を知る良い経験となった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
22時00分	<p>●夕食、ミーティング、就寝</p> <p>時間的に余裕がなくなったため、夕食を済ませすぐさま就寝。</p>
所感	<p>試合ではどんどんタフになる選手たちの成長に驚かされる。また、相手にビッグマンが多いことで、今まで引き出してあげられなかった長身者（日本では高さである程度勝ててしまっていた）の駆け引きやコンタクトなどを教える良い機会となった。またガード陣も大きな選手を前にした対応、パス、シュートなどの判断はより良くなってきた。チームとしてのまとまりが強くなって、チームとしても成長が見える。</p> <p>また、市街に出てバルセロナの街の雰囲気や文化を知ることができたことで、子ども達の視野がグッと広がった。外国人にも気さくに挨拶できるようになり、声をかけられシドロモドロになりつつも、それを楽しそうに仲間と話し、次の機会に生かしている。今後の人生において、海外に視野を向ける良いきっかけにもらえると感じる。</p>
<明日の予定>	<p>AM 予選リーグ GAME 3 vs IPSI U16</p> <p>PM リフレッシュ</p> <p>夜 3P コンテスト</p>

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook 、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

スペイン遠征報告 3月26日(月) - 4日目	
(現地時間) 7時	<p>●起床、朝食、移動</p> <p>3日間、同じタイムスケジュールということで、気象から移動までがスムーズにできるようになった。朝食では、野菜を食べない選手が多かったので注意。食事の面でも、日本とは違う食事、家族に管理されず自分で管理しなければならぬことを学んでもらう。</p>
8時	<p>●会場入り</p> <p>3日目も別の会場となるが、ここがメイン会場となりここから先は毎回同じとなるので、使い方や施設を確認しつつ、1試合目の準備を進める。</p>
9時00分	<p>●予選リーグ第3試合 vs IPSI U16</p> <p>スタートからペースをつかみ、10-0のランで試合の主導権を握る。相手もインサイドやミドルシュートで応戦するも、速攻からの得点やミスマッチを突いたプレイで加点し30-9でリード。2Qに入ると、相手がゾーンディフェンスになる。日本ではゾーン禁止なので、選手たちも対応が遅れる。スペースを取り始め、攻め方が落ち着いたところで効果的に3Pを決め、リードを保って前半を終える。後半に入るとゾーンに対するオフェンスが機能しはじめ、3Pとインサイド、またディフェンスからの速攻と、相手に付け入るスキを与えず圧倒していく。リードを広げ試合を終始コントロールでき、無事に予選1位突破を決める。</p> <p>ビーコル 90 - 51 IPSI U16</p> <p style="margin-left: 40px;">30 - 9</p> <p style="margin-left: 40px;">16 - 21</p> <p style="margin-left: 40px;">21 - 10</p> <p style="margin-left: 40px;">23 - 11</p> <p>ゾーンに不慣れながらも、後半の立て直しができた事、また全員がハードにディフェンスを相手にコントロールさせなかったことが勝因。選手たちはスペインでのバスケットにも慣れ、本来の能力をしっかりと出してきている。ただし、勝っていることでの緩みも見受けられたので注意をしなければならない。</p>
11時30分	<p>●昼食後、決勝トーナメントに向けたリフレッシュ</p> <p>洗濯や買い物済ませ昼食をとったのち、午後からは初日に行ったビーチにてリフレッシュ。やや肌寒いも、そこは中学生。思い切り海へダイブ。リュレット・ダ・マールに滞在しているスペインや海外のサッカーチームや他のバスケットチームにも声をかけられたりしながら、しばしの休息を満喫。</p>
19時00分	<p>●3Pコンテスト (動画=https://youtu.be/8RlmeIQ2mBE)</p> <p>今大会、もう一つのイベントが3Pコンテスト。U13以上のすべてのカテゴリーで男女を含めた各チーム1名が代表で登場し、1分間で5か所×3ボール=15本で順位を決める。予選ラウンド、決勝ラウンドを行う。ビーコルからは、#12石原 蓮(いしはら れん)選手が出場。予選を6本と全体2位(1位は7本)の成績で突破。12名が進出した決勝では会場内から多くの声援をうけ、最初の5本をすべて決め大盛り上がり。その後も、コンスタントに決め、最後の一本をブザービーターで決め合計10本とすると、会場は大喝采。その後も、9本を超える選手は現れず優勝!他チームからも2ショット写真をお願いされるほど、スター選手扱い。本人は、中学での</p>

	<p>部活の成績が振るわなかったこともあり、本人は初めてのことで照れを隠せない。しかし、ユース設立当初のメンバーの活躍は育成の一つの成果でもある。</p> <p>大興奮のまま、良い流れをもって決勝トーナメントへ進んでいくことができる。</p>
所感	<p>試合をすることで成長していくことと、昨日の試合に勝ち切ることで自信をつけることができた。今日の試合は、まさにそれが体現されたようだった。出足から持ち味を発揮し、不慣れな事態にも適切に対処した対応力は素晴らしい。また、チームのヒーローが毎試合違うあたりにも、チームとしての層の厚さを感じる事ができた。</p> <p>3P コンテストでは、壁や太鼓、ブゼラを鳴らし、大きな音で選手を鼓舞したり、声援を向けたり、パフォーマンスをするなど、奥ゆかしい日本人ではなかなか出せない雰囲気の中、選手も臆することなく会場の真ん中に席を取り、周りの違うチームの選手や観戦に来ている保護者と、言葉が通じないなりにハイタッチやコミュニケーションをとる姿には感動した。また女子チームではあるが、世界的に有名な FC バルセロナのユース選手とコーチが、ビーコルの選手に写真を撮らせてくれと言ってくることに、個人的に感動した。</p> <p>ただし、ここからは決勝トーナメントで何が起きてもおかしくない。気を引き締めて一つずつ勝利に向かっていきたい。</p>
<明日の予定>	<p>AM ウォーミングアップ</p> <p>PM 決勝トーナメント vs LAIETÀ U16 (Aグループ4位)</p> <p>夜 ミーティング</p>

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

スペイン遠征報告 3月27日(火) - 5日目	
(現地時間) 8時	<p>●起床、朝食、移動</p> <p>今日から試合が午後からとなり、起床時間等が変わる。</p>
9時30分	<p>●午前練習</p> <p>ボールは使わないが、午後に向けてのコンディショニング。浜辺のランニングとウォーキング、ストレッチと体を睡眠状態から起こしていく。</p>
12時30分	<p>●昼食</p> <p>昼食後は休息の時間にして、試合に備える。</p>
15時00分	<p>●決勝トーナメント1回戦(準々決勝) vs LAIETÀ U16</p> <p>会場入り後、勝った場合の次の対戦相手を決める対戦が行われているため、スカウティングで前半だけ観戦。後半になってからウォーミングアップを行う。また、対戦相手と同じバスで移動してきていたが、雰囲気の違いとリーグ4位という成績に、ビーコル選手たちが合わせてしまっているのが気がかり。</p> <p>今大会はじめて、試合の入りが悪く相手に先手を取られてしまう。内容としても、攻めを急いだり、ディフェンスでの簡単なミスが起きたりと、昨日の内容とは程遠いほどになってしまう。ベンチメンバーが出て、落ち着きを取り戻すと、リードを広げることができた。しかし、終盤にも簡単に攻められる場面が多く、終始自分たちらしいプレイを見せることができなかった。</p> <p>ビーコル 71 - 51 LLIÇÀ AMUNT U15</p> <p>12 - 12</p> <p>19 - 10</p> <p>25 - 16</p> <p>15 - 13</p> <p>ここまで好調を維持していたディフェンスでの厳しさが影を潜めたことで、チームとしてのコントロールを失ってしまう。相手の姿に油断し受け身となり焦ったことで、堅実にやってきたことを見失い自滅していった。ベンチメンバーがチームの落ち着きを取り戻したが、リードしたあともチームとしてのまとまりを見せることができなかった。</p> <p>準決勝に向けて、気を引き締め直す必要がある。ただ、これもよい教訓になる。調子の良い時ほど、気を引き締め注意力を高めるといふこと。いつでも足元をすくわれる可能性があるということ。</p>
17時00分	<p>●洗濯、夕食</p> <p>選手たちは各々に反省の表情を浮かべている。食事の時も、真剣に今日の試合を振り返り向き合っている様子であった。</p>
20時30分	<p>●ミーティング</p> <p>個々の反省と課題を話し合う。今日の自分たちを振り返り、明日に向けてのマインドセットをす</p>

	<p>る。ここまで勝って来られたのは何だったのか、自分のやるべきことは何か、をチーム全員に発表し共有する。またコーチからも個々の課題を提示し、明日の試合と将来に向けてのアドバイスをする。</p>
<p>所感</p>	<p>日々のルーティンが変わったこと、相手に対する油断、緊張感の欠如など、上手くいかない要素を個々で感じるための良い教訓となった一日だった。コーチとしても、目の前にある事柄に集中し、自分のベストを尽くすということが重要であることを学ばせるために良い機会となった。大会期間中、すべてがうまくいくことはない。明日への布石として生かして、チームとして準決勝を突破していきたい。また、対戦相手はデンマークの強豪チームで、フィジカルが強く、高さもあるタフな相手であり、この大会に参加している中で大一番であることに間違いない。小さい体でどこまで戦っていけるか、チームとしての大きな挑戦になる。</p>
<p><明日の予定></p>	<p>AM ウォーミングアップ PM 決勝トーナメント・準決勝 vs HORSHOLM 79ERS U16 (Aグループ2位) 夜 ミーティング</p>

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

スペイン遠征報告 3月28日(水) -6日目	
(現地時間) 8時	<p>●起床、朝食、移動</p> <p>昨日と同じく、午後から試合のため時間にゆとりを持ち1日をスタートした。</p>
9時30分	<p>●午前練習</p> <p>ホテル近くの広場でスカウティングした相手のチームの特徴を確認。</p> <p>それに対する対応策なども念入りに伝え、選手たちもしっかりと理解してくれた様子。</p> <p>最後は自分たちで確認させる時間もとり、ホテルに戻った。</p> 
12時30分	<p>●昼食</p> <p>昼食後は休息の時間にして、試合に備える。</p>
16時30分	<p>●決勝トーナメント2回戦(準決勝) vs HORSEHOLM 79ERS U16</p> <p>バスでの移動中から、昨日の雰囲気とは一転して選手たちは集中した表情を見せていた。</p> <p>会場到着後すぐに体を動かし始め、午前中に行ったスカウティングの確認を行った。</p> <p>自分たちの前の試合の後半が始まったところで試合前アップを開始し、準備は万端となった。</p> <p>ビーコル 51 - 53 HORSEHOLM 79ERS U16</p> <p>11 - 12</p> <p>11 - 18</p> <p>14 - 11</p> <p>15 - 12</p> <p>試合序盤から相手の高さに苦しみ、リードを許す展開となる。一時は10点のビハインドを負い、難しい時間帯が続くもしつこいディフェンスからなんとか食らいつきビハインドを縮めて前半終了。後半も一進一退の攻防が続き、選手たちにも疲れが見え始める。対照的に相手チームは小刻みにメンバーチェンジをして試合を進めて来ていたため、前半と変わらないリズムで試合を進めて来ていた。厳しい時間帯が続き、諦めそうになったその時、応援席にいたスペインのチームから横浜コールが聞こえる。選手たちの諦めない姿に心を動かされ、横浜を応援してくれ始めた。それに力をももらった選手たちは最後の力を振り絞り懸命にプレーし、残り1分で6点差まで詰め寄る。そこで会場の横浜コールは最高潮となる。最後まで諦めない横浜はファウルゲームを仕掛</p>

け、2点差にする。残り2秒、相手がフリースローを2本ともミスし、リバウンドを奪うもゴールを決めることなくタイムアップ。あと一歩が届かず、悔しい敗戦となった。
観客席からは大きな歓声が聞こえ、激戦を終えた両チームを讃えてくれた。



17時00分

●洗濯、夕食

選手たちは試合に負けた悔しさからいつもよりも口数が少なく、下を向いている選手もまだいる。洗濯を終え、夕食に向かうも食事が進まない様子。
まだ明日の試合もあるために、しっかりと栄養を摂るように促した。

20時30分

●ミーティング

今日の激戦を振り返り、しっかりと悔しさを共有する。この遠征で学んだこと、今まで培って来たもの、全てを最後の試合に出し切ろうと伝え、選手たちのマインドセットも出来た。
表情もよくなり、明日の試合に向けて良い準備ができた。

所感

残念ながら試合には敗れてしまったが、試合内容はビーコルユース創設以来3本の指に入るベストバウトだった。格上の相手に対し、選手たちは諦めることなく最後まで立ち向かい、あと一歩のところまで追い詰めた。ビーコルユースとして今まで培って来た全てを体現し、闘ってくれた。それに応える会場の大きな声援。そのような日本ではありえない雰囲気で行うことができたことは選手にとって必ず大きな財産になるだろう。
なぜ海外で試合をしなければいけないのか、改めてその意義を大きく感じることでできた試合となった。
本当に勝たせてあげたかったが、そこは勝負の世界。
この悔しさを明日の3位決定戦にぶつけたい。



スペイン遠征報告 3月29日(木) -7日目	
(現地時間) 7時30分	<p>●起床、朝食</p> <p>今日は早朝からの試合のため、早めに起床して朝食へ。</p> <p>昨日の疲れが残っているのではないかと心配したが、睡眠時間を長く取れたので特に影響はなかったようだ。</p>
9時30分	<p>●3位決定戦 vs IPSI U16</p> <p>グループリーグ最終日に対戦したチームと再戦。その時の試合では大差で勝利したものの、昨日の準決勝ではかなり動きも良くなっており、油断できない相手である。</p> <p>ポイントになる点をしっかりと選手に伝え、試合に臨んだ。</p> <p>試合開始から相手の外角シュートが好調で、打てば入る展開となり最大15点のリードを許す。選手たちもトラップディフェンスから相手のパスをカットし連続得点し点差を縮めて前半終了。後半も引き続き相手のシュートがよく決まり、なかなか点差が縮まらない我慢の時間帯が続く。最後の4Q残り5分、2点差まで詰め寄り逆転の雰囲気が出たところ、相手にスリーポイントを連続して決められてしまう。その後は追いつくことなく15点差での敗戦となった。</p> <p>終始相手の外角シュートに苦しめられる試合となった。</p> <p>大会を4位で終えることが決定した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
11時30分	<p>●試合観戦</p> <p>ホテルに戻り、近くの体育館で決勝戦が行われていたのですぐに移動し観戦する。</p> <p>ビーコルユースは大会期間中にすっかり人気者となり、他のチームと一緒に座り試合を応援する。試合は一進一退の攻防で、どちらに転ぶかわからない展開となる。</p> <p>最後は準決勝で対戦した HORSEHOLM 79ERS が抜け出し、優勝を決めた。</p> <p>試合内容を見ているとビーコルユースでも十分に優勝の可能性があったと感じ、悔しい思いも残った。</p>
13時00分	<p>●昼食</p> <p>ホテルに戻り、昼食を摂る。</p> <p>試合が終わり、緊張もとれ今までより楽しんで食事をしている様子だった。</p>
14時30分	<p>●閉会式</p> <p>各カテゴリー3位までの表彰ということで、残念ながらビーコルユースは表彰は無し。</p>

その代わりに、3ポイントコンテストで優勝した石原選手が個人で表彰され、大きな歓声を受けていた。式典の後、選手たちは他チームの選手とSNSを交換したり、一緒に写真を撮ったりなど積極的に交流を深めていた。この経験がきっかけで、将来は海外に出たいという思いなどに繋がってくれたら嬉しく思う。



16時30分

●自由時間

ホテルに戻り自由時間。ホテルのプールに入ったり、帰国に備え荷物の整理をするなど各自で行動させる。昼寝をした選手が多く、やはり慣れない土地での長期滞在でかなり疲れが溜まっていたと思われる。

19時00分

●夕食

遠征最後の夕食はせっかくだから美味しいパエリアを食べようと、予約してあったホテルの近くのレストランに向かう。

徒歩15分ほどの近くのレストランで、雰囲気も良く、目の前はビーチという好立地。

席に着くと丁度夕暮れの時間帯で、窓から見た夕日に照らされた海は最後の食事にピッタリだった。注文したパエリアが来るとさすが本場、日本では見たことがないサイズの大きな専用の鍋で、14人分を2つに分けて運んでくれた。見た目もイメージしていた黄色いご飯とは違い、黒いリゾットのようなタイプのもの。

見た目のインパクトも抜群だったが、味も絶品。選手たちも気に入ったようで、誰一人残すことなくキレイに完食。

最後に伝統的な食事を食べることができ、選手たちも満足気な様子だった。



21時00分

●ミーティング

最後のミーティング。今日の試合の反省、そして今回のスペイン遠征での自分の収穫などを話してもらい、改めてチーム全体でシェアした。

	<p>初日のミーティングでは選手たちが話しても一言二言で終わりだったが、最終日の今日は試合での具体的なシーンを説明したり、他の国の文化について語ったりとかなり内容のある話ができるようになった。この遠征の期間で、様々なことを感じ、学んだことで選手の精神面も少し大人になった印象を抱いた。</p> <p>まだ荷造りなど帰りの支度が終わっていない人も多かったので、早めに解散し就寝時間は各自に任せた。</p>
所感	<p>実は今日の試合は遠征最終試合、そしてU15ユースチームとしてもシーズン最後の試合だった。そのため勝って終わりたかった試合ではあったが、残念な結果となってしまった。</p> <p>この悔しさをまた次のステージで生かしてほしい。</p> <p>今までの日程に比べ、今日は比較的時間に余裕があるスケジュールだったので選手たちの様子をじっくりと見ることができ、そして遠征の中での成長を大きく感じた。</p> <p>バスケットボールに限らず、精神面でも少し大人になった選手たちに頼もしさも覚えた。</p> <p>もっともっと彼らの成長を見ていたかったが、ついに明日で帰国となってしまった。</p> <p>最後まで気を抜かずに、無事に帰路につきたいと思う。</p>
明日の予定	AM 帰国

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

<明日の予定>	AM 3位決定戦 PM 閉会式、お土産 夜 ミーティング、近くのレストランで夕食
---------	--

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitterを随時更新しています！！

こちらをご覧ください！

スペイン遠征報告 3月30日(金) - 8日目	
(現地時間) 8時00分	<p>●起床、出発</p> <p>いよいよ今日は帰国の日。 朝食を食べた後、お世話になったホテルを出発。 ホテルでの食事が素晴らしかったので、滞在中は特に大きなストレスも感じる事がなかった。 また遠征に来た際には、是非とも同じホテルを利用したい。</p>
11時40分	<p>●スペイン出発</p> <p>1週間過ごしたスペインでの日々これで終わり。 空港で最後にお土産を買い、飛行機に乗りました。 あとはトラブルなく日本に帰らせてくれと祈るだけ、、、</p>
(日本時間) 3月31日 13時50分	<p>●日本到着</p> <p>上海での乗り換えを経て、無事に成田空港に到着。 ゲートでは保護者の方たちがお出迎えをしてくれ、久しぶりの家族との再会に嬉しそうな選手たち。 最後に保護者の方たちも含め、全員で写真撮影。</p>  <p>写真撮影の後、各自は現地解散としスペイン遠征を無事に終えることができた。</p>
所感	<p>横浜ビー・コルセアーズユースチームとして初めて国際大会に参加した今回のスペイン遠征は、予想をはるかに超える素晴らしい経験となり、日本から世界に出ることの意義を改めて実感することができた。 今後も横浜ビー・コルセアーズユースチームは世界に挑戦し続けて行きます。</p>

随時情報更新中！

横浜ビー・コルセアーズ アカデミー Facebook、Twitter を随時更新しています！！

こちらをご覧ください！